

分野		補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築						
市町村名	大町市	ふりがな箇所名	(一) <small>ありあけおおまちせん</small> 有明大町線		<small>かんのんげいにし</small> 観音橋西		事業年度	(完了年度は見込み)		年度～	年度		
事業概要	区分	事業内容				事業費(千円)		財源内訳(千円)					
	全体	道路拡幅工 L=400m W=6.5(16.0)m				80,000		国庫	その他	県債	一般財源		
	H25年度												
箇所評価	区分	評価項目・指標等				評価				ランク	評点		
	(30)	計画交通量	■ 4,000台/日以上		□ 1,500台以上～10,000台/日未満		□ 1,500台未満		B		4		
		代替道路	□ 唯一の道路である		■ 代替となる道路がある							0	
		ネットワーク(道路網)	■ バス路線である		□ B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線		□ A及びBに該当しない					5	
			■ ボトルネック箇所		□ ボトルネック箇所でない							4	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	■ 観光地に通じる道路		□ 観光地に通じる道路ではない							2	
			□ 4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)		□ 4.0m以上5.5m未満(幅員)		■ 5.5m以上(幅員)					0	
		■ 自動車と自転車・歩行者との分離を図る		□ 歩道はあるが不十分であるものを再整備		□ 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		4					
	他事業との関連	□ 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施								0			
	小計										19		
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮				□ 環境・景観配慮がされ現実性が高い		■ 環境・景観配慮がされているが現実性が低い		□ 環境・景観配慮をしていない		3
		地域の法的な位置付け		□ 緊急輸送路(1次)に位置付けられている		■ 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、国土整備実施計画認定地域に位置付けられている		□ 特別な位置づけはない				3	
		小計										6	
	(20)	効率性	費用対効果				■ B/C(3便益)1.0以上		□ B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)		□ B/C(3便益)1.0未満		5
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)		■ 事業年数 3年以内		□ 事業年数 4年～5年以内		□ 事業年数 6年以上		B		8	
コスト縮減		□ 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		□ 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		■ コスト縮減はしていない				0			
小計										13			
(20)	緊急性	安全性の向上				■ 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		□ 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		□ 交通事故や落石等の危険がない		10	
	各事業特有の緊急性(医療・福祉)		□ 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		■ 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		□ 医療・福祉の連携に関係ない道路		A		6		
	小計										16		
(20)	計画	地域からの要望				□ 地域住民の内発的な要望が強い		■ 市町村からの要望		□ 特に要望がない		5	
	熟度	事業情報の共有		□ 関係者以外に広く周知		□ 関係者中心に周知		■ 特に周知していない		C		0	
		住民参加の状況		□ 住民が計画策定に直接参加		□ 住民や市町村の意見を計画策定に反映		■ 特に住民意見は反映していない				0	
	小計										5		
費用対効果(B/C)		4.4		評価の合計				B		59			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、大町市総合病院、市役所、高校等公共機関が集中する市街地と大町市西部を結ぶ生活道路で、救急医療の観点からの重要な位置にある。幅員が狭いため大型車のすれ違いに支障をきたし、歩行者の安全も確保されていないため早期の改良が必要である。											
	地域からの要望経緯	地域の住民からも改良要望が強いが、用地買収が難航している。最近H19年8月に大町市より要望を受けている。											
	事業説明等の経緯	全体計画については、平成9年度より地元説明に入り、近年は平成17年に地区への説明を実施している。											
	環境・景観への配慮項目	歩道へ植樹帯を設置し緑化に努めていく。											
	他事業・プロジェクトとの関連	本路線は、事業が進められている「国営アルプスあずみの公園」への大町市街地からのアクセス道路である。											
	特記事項	平成17年に供用した観音橋の架替事業に伴う、路線改良。											
地域の合意形成		□ 全員賛成		□ 概ね賛成		□ 過半数賛成		■ 動向不明					
部意見	計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。				行政改革課意見		計画熟度がやや低い。						